

★歯を大切にするための情報をお届けします。



健康ニュース

小林歯科

0533-82-0555

歯周病と糖尿病は互いに影響し合っている

歯周病と糖尿病、一見何の関係もないように感じるかもしれませんが、両者が深い関係にあるということをご存知ですか？

歯ぐきの炎症というのは誰でも起こることです。歯ぐきの炎症が落ち着かない場合、単に歯石が溜まっていることが原因の場合もあります。しかし、

糖尿病で血糖値に問題があることが原因で、歯ぐきの炎症が落ち着かない場合もあります。歯周病がなかなか治らないことで糖尿病が判明する場合があります。歯ぐきの炎症サインを甘く見ず、早めの受診で歯ぐきの健康、体の健康を守っていきましょう。

糖尿病が歯周病に及ぼす影響

糖尿病になると、いくつか合併症が起こってきます。視力を失うことがある「網膜症」、腎臓がうまく働かなくなる「腎症」、足の感覚が麻痺して壊死してしまう「神経障害」などが代表的なもので、**脳梗塞**、**心筋梗塞**なども起こりやすくなります。また、歯周病も元々糖尿病の合併症として知られてきました。糖尿病にかかると、体の免疫機能が落ちてしまうため、歯周病のような感染症が起こりやすくなってしまいます。



歯周病が糖尿病に及ぼす影響

歯周病が糖尿病を悪化させるということも最近になってわかってきました。これは、歯周病にかかっていると、その原因菌である**歯周病菌**の**放出する炎症性物質が血管内に入り込む**ことで、血糖調整に関わっているインシュリンというホルモンの働きを邪魔するからだと考えられています。その証拠に、糖尿病にかかっている人の**歯周病を治療することで、糖尿病の状態が改善するという例が数多く報告**されています。



入れ歯のお悩みは、お気軽にご相談ください

「入れ歯だから仕方ないとあきらめていませんか？」



金属のバネが見えて見た目が気になる



合わなくて痛い



違和感が気になる



食べたい物が食べられない

入れ歯には保険適用のものと自費(保険適用外)のものがあります。

保険の入れ歯は、安価に作ることはできますが、使用できる材料、設計に制限があり、「噛む機能の回復」を主眼においた入れ歯ということになります。そのため、見た目や快適さなどに関しては満足な結果が得られないこともあります。

それに対し、自費の入れ歯は費用は高くなりますが、使う材料や設計も自由にできるため見た目や使い心地など、より自分に合ったタイプの入れ歯を作ることが可能です。

入れ歯は毎日使うとても大切な道具です。

毎日をストレスなく過ごすために自分に合った入れ歯を使いましょう。

